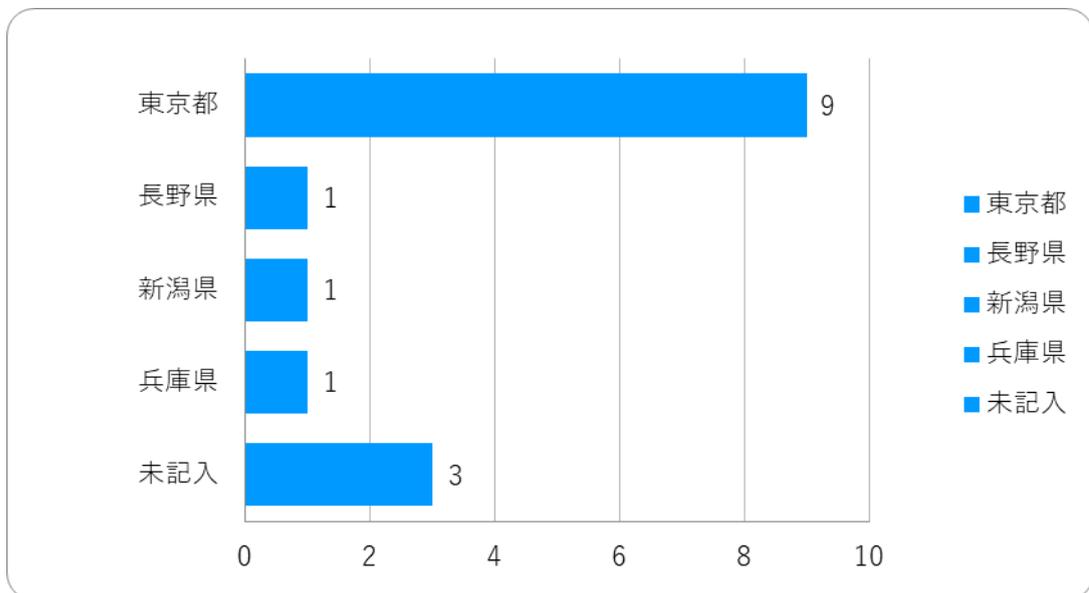


厚生労働大臣指定法人・いのち支える自殺対策推進センター主催
第4回「オンライン形式のわかち合いの会」運営スタッフ研修～子ども向けの会の実践～（3/12）
アンケート結果の概要

※参加者 19 名中、アンケートに回答したのは 15 名。回答率 78.9%。

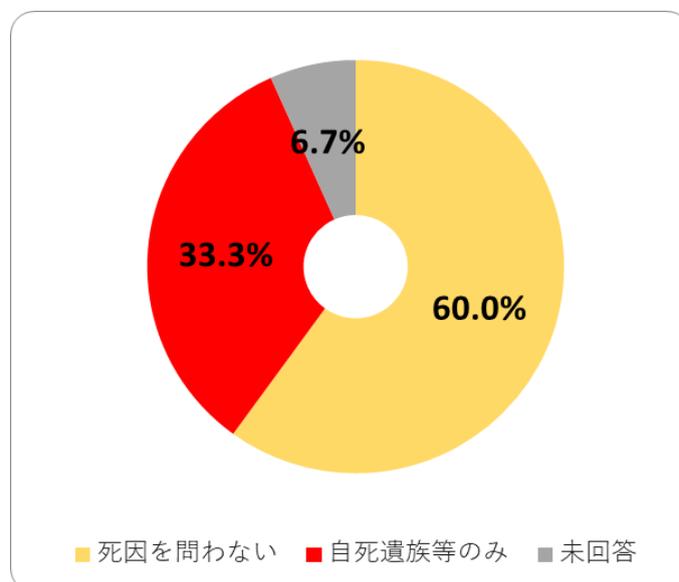
※グラフの「凡例」は、回答した人の割合が高い順に左から並べており、アンケートの選択肢の並び順とは異なります。

主な活動拠点（都道府県）を教えてください。（任意）



「わかち合いの会」の対象を教えてください。（複数回答可）

自死遺族を含むさまざまな遺族を対象とした「わかち合いの会」を運営している団体は 60.0%、自死遺族等を対象とした「わかち合いの会」を運営している団体が 33.3%となっている。

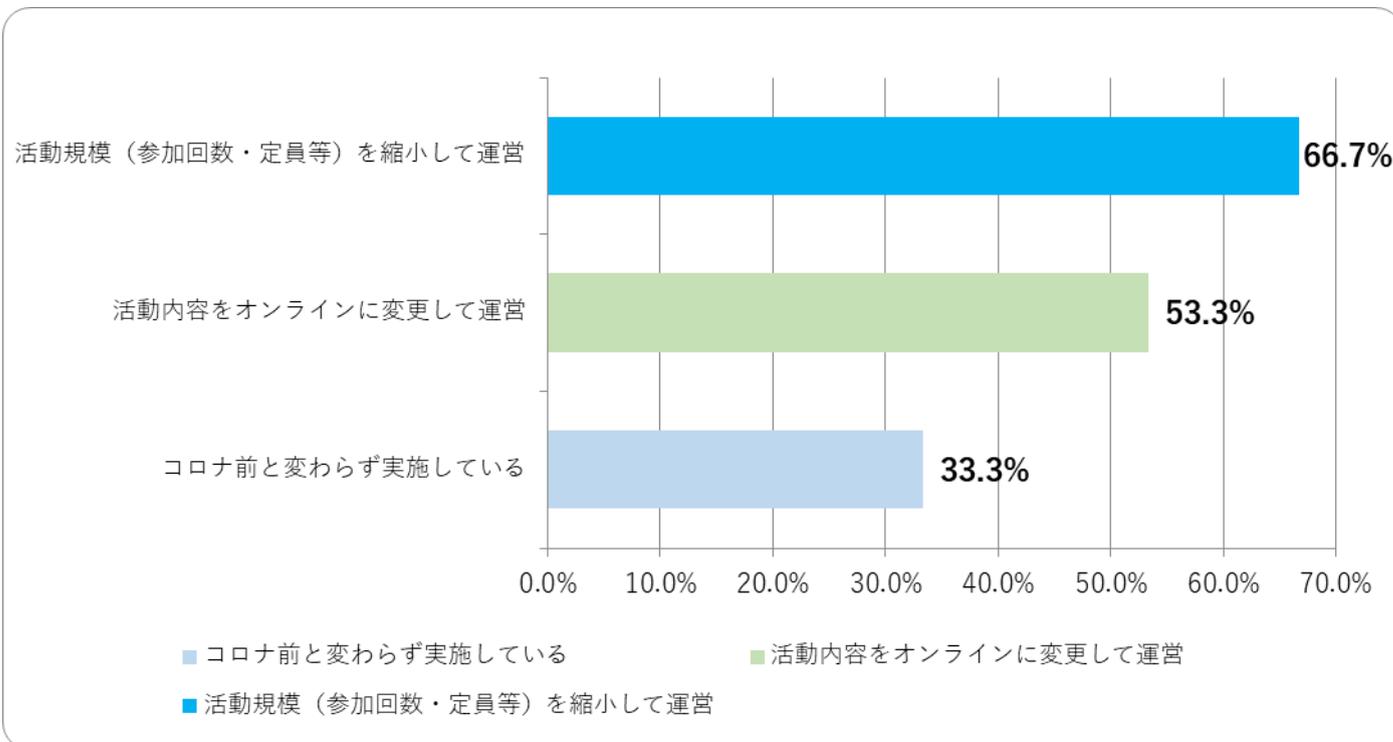


現在の「わかち合いの会」の活動状況を教えてください。（複数回答可）

「活動規模（参加回数・定員等）を縮小して運営」が66.7%、「活動内容をオンラインに変更して運営」が53.3%、「コロナ前と変わらず実施している」が33.3%と、今回の参加団体に「休止中」と答えた団体はいなかった。

「活動内容をオンラインに変更して運営」している団体の割合は、研修を重ねる度に、徐々に増えてきている。

（参考：第1回 21.7%⇒第2回 34.6%⇒第3回 40.0%⇒第4回 53.3%）



本研修に参加しようと思った理由を教えてください。（自由記述、内訳）

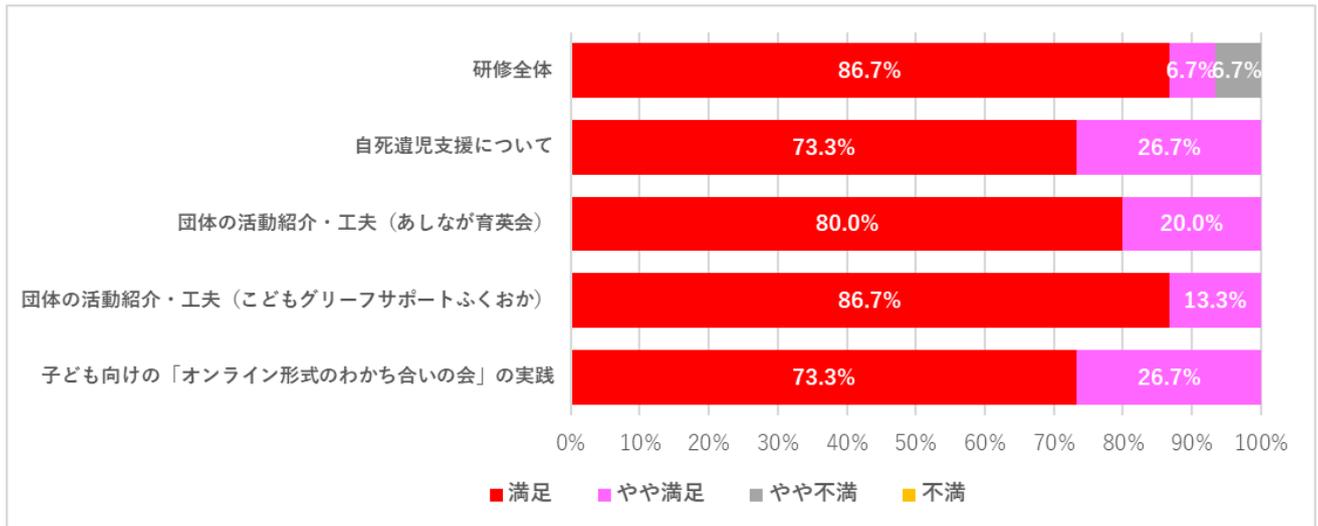
分野	件数
子ども向けのオンライン形式のわかち合いの会について学びたい	5
他団体の実践例や工夫していることが知りたい	4
運営や進行について学びたい	2
オンライン開催の運営について学びたい	2
オンライン開催の必要性を感じた	2
その他	1

（自由記述、以下抜粋）

- 子どものグリーフについて学ぶ機会がなかったため、参加してみようと思った。
- 保護者を対象とした会を実施しているが、遺された子どもたちのことが気がかりであると話題になる。遺された子どもたちが取り残されているようにも感じているので、オンラインの活用も含め考えていきたい。
- 運営や進行について学び直したいと考えた。
- オンラインでの子どもをつどいの進め方や大切にしていることを知りたかった。
- 実際にオンラインでも開催してみたが、うまくいかず、他の団体のやり方などを今後の活動の参考したかった。

研修の満足度についてご回答ください。

研修全体の満足度は、「満足」が86.7%、「やや満足」が6.7%、「やや不満」が6.7%。



上記を選択した理由を教えてください。（自由記述）

（満足・やや満足のコメント一部抜粋）

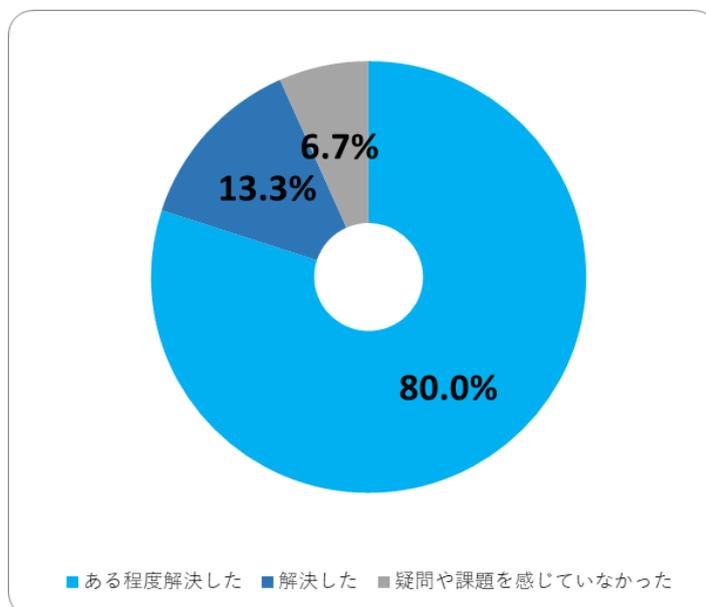
- 具体的な活動内容や、実践を知ることができた。遊びの取り入れ方や工夫を知ることができたのも良かった。
- ポイントが絞られていたので参考になった。子ども向けのオンライン形式のわかち合いの会の実践は、参加者役と一緒に実践してみたが、進行役の子どもへの投げかけ方や気持ちの聴き方など、具体的でとても参考になった。
- 実際にプログラムを疑似体験でき、運営のイメージができた。
- 団体規模の大・小のバランスもよく学ぶことが出来てどちらも参考になった。
- この場に実際に子どもがいなくても、子どものためのグリーフケアについて臨場感も伝わり、分かりやすかった。
- 実践的な内容で自分の団体でも取り入れやすいものばかりだった。
- 自死遺児に特化した内容で支援の注意事項などが示されたこと。

（やや不満・不満のコメント一部抜粋）

- 自分たちが行っている活動について意見をもらいたかった。
- 深く知るには時間が短かく感じた。

本研修に参加して、参加前に感じていた問題や疑問等は解決しましたか。

「ある程度解決した」が80.0%、「解決した」が13.3%、「疑問や課題を感じていなかった」が6.7%。



本研修で得た内容を踏まえて、今後の「オンライン形式のわかち合いの会」において生かせそうなことがあれば、教えてください。（自由記述）

（以下一部抜粋）

- マンパワーや機材等のテクニカルな部分もクリアしないといけないが、考えるきっかけになった。
- 普段は大人対象の「わかちあい」しか行っていないが、子どもも視野に入れたいと思うようになった。その際は、研修の中で教わったゲーム感覚も導入したい。
- 遺児や遺族が自分自身で回復する力を持っていることを忘れず、フラットな関係でのかかわりを心がけたい。
- オンライン形式での「はじまりの輪」や「あそびの時間」「終わりの輪」の進め方は対象を問わず、有効に生かせる部分があると感じた。
- オンラインを用いた事前の説明会の実施など。

研修で質問できなかったことや確認したいことがありましたら、ご記入ください。（自由記述）

（以下抜粋）

- 子どものつどい開催にあたっての情報周知活動の具体例、特に小規模団体での実例を知りたいと感じた（団体HP以外でどう工夫しているか等）
- 遺児支援の活動を行う資金面について（どのくらいの活動でどのくらいの費用がかかるか？その金額はどのように調達するのか？）

その他、今回の研修に関して、ご意見、ご感想など自由にご記入ください。（自由記述）

（以下抜粋）

- この研修を機にオンラインの場が広がっていったらいいなあと思う。
- オンラインの会の開催のことでしたが、対面でも共通することや気をつけることなど確認できた。対面とオンラインそれぞれの良さがあるかと思う。オンラインの方が参加しやすい（どこからでも参加可能など）いい面もたくさんあると感じている。
- 各団体が、特に子どものつどいに関わっている人材については、横断的に協力し合える可能性があるのではないかという発言には、希望が持てたような気がした。
- 子どものグリーフケアは、これまで文献上でしか情報が得られなかったので、ご講演で具体的内容や様子を知ることができ、非情に有意義でした。
- ファシリテーターと子ども役との具体的な実践例が良かった。

以上